
古部 賢一 Ken-ichi Furube, Oboe

大阪生まれ。東京芸術大学卒業後、ミュンヘン音楽大学大学院にて G.パッシン氏に師事。また、S.ゴールドベルグ氏にも薫陶を受ける。

1991年、小澤征爾率いる新日本フィルハーモニー交響楽団の首席オーボエ奏者に就任。これまでに、ハンブルク北ドイツ放送響、ベルリン・ドイツ響、シュトゥットガルト室内管などにも客演首席奏者としてしばしば招かれている。

エマニュエル・パユ、諏訪内晶子、樫本大進ら国際的アーティストとの共演も数多く、厚い信頼を寄せられている。2014年には、ライナー・キュッヒル率いるウィーン・フィルメンバーと共演し、好評を博した。

また、クラシックにとらわれず多彩な共演者とのコラボレーションも展開しており、近年では2014年ギタリスト鈴木大介との2枚目となるデュオ・アルバム『Cafe1930』をキングレコードよりリリースしている。

札幌大谷大学芸術学部音楽学科客員教授、東京音楽大学、相愛音楽大学非常勤講師。サイトウキネンオーケストラメンバー、第10回出光音楽賞受賞。ソニー国際オーボエコンクール・軽井沢、日本音楽コンクールの審査員を務めるなど後進の指導にもあたっている。

(2017年8月現在・転載禁止)